

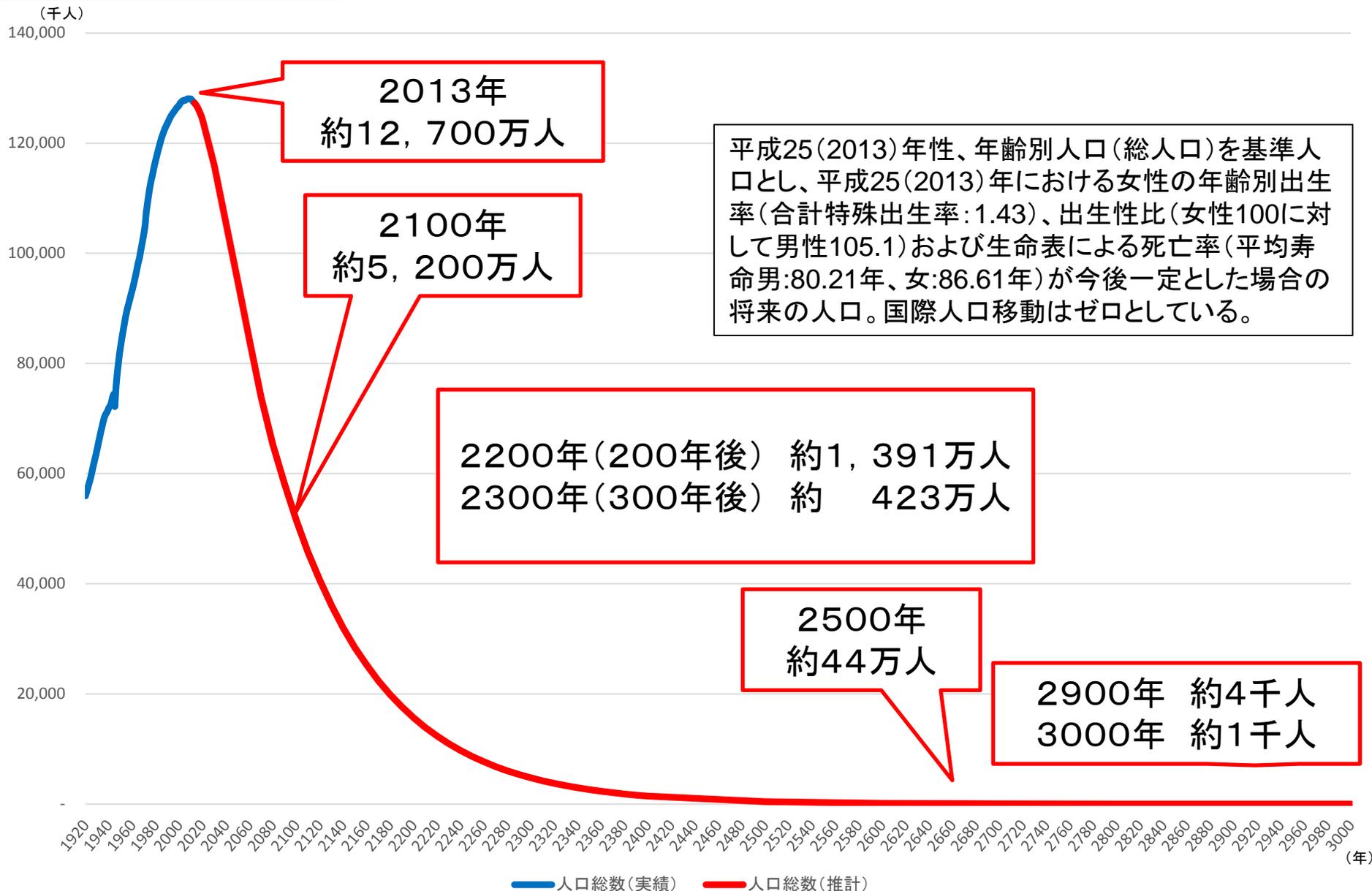
# 「地方創生」による日本創生 ―成果と展望―

---

平成27年11月24日

地方創生・国家戦略特別区域担当大臣  
石破 茂

# 仮に出生数・死亡数が今後一定で推移した場合の将来人口



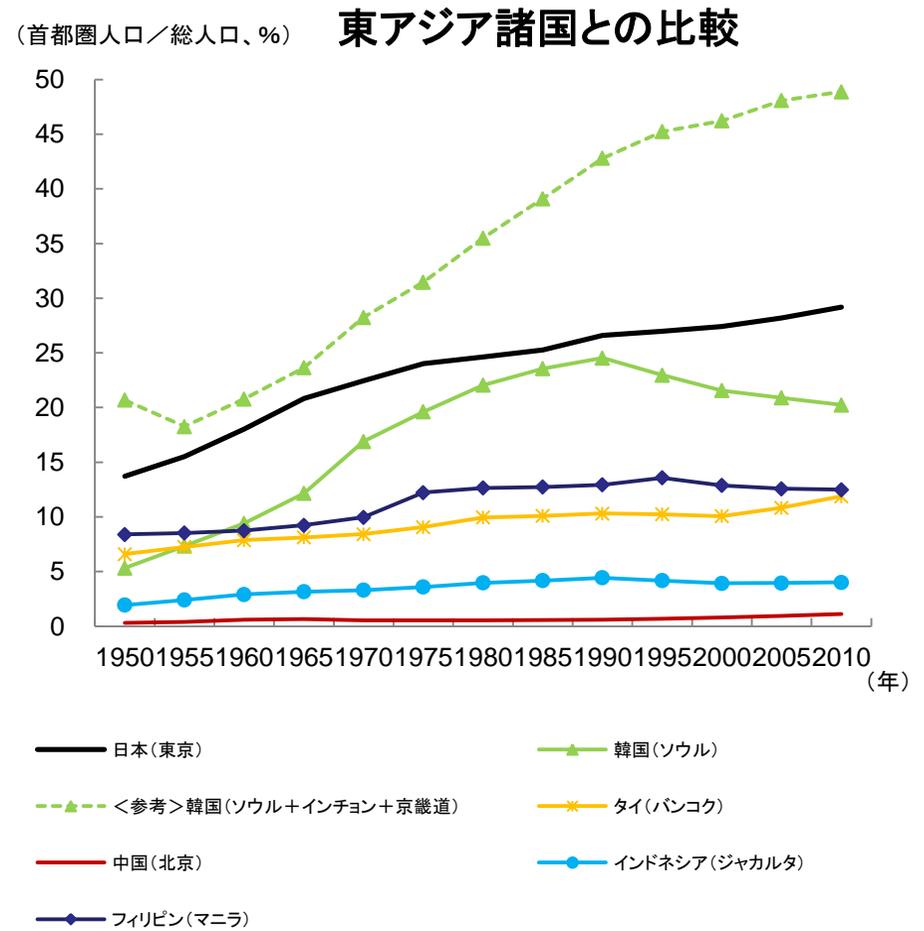
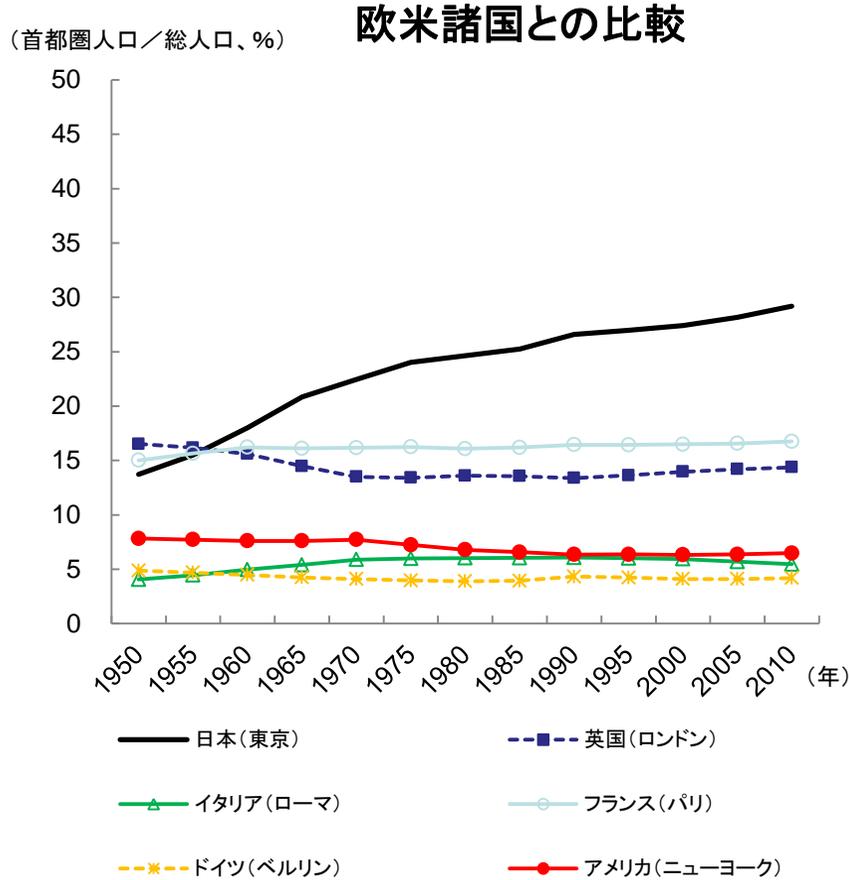
# 少子化・高齢化に関する日本の経験は世界各国の先行事例

○高齢化の速度について、高齢化率が7%を超え、倍の14%に達するまでの所要年数(倍化年数)で比較すると、フランス115年、比較的短いドイツ40年に対し、日本は、24年と短期に倍加。アジアの高齢化は急激だが、日本が先駆けて高齢化しており、参考とする類例が他国に存在しない。

国名	高齢化率		高齢化率の倍化年数
	7%	14%	7%→14%
日本	1970	1994	24
ドイツ	1932	1972	40
イギリス	1929	1975	46
アメリカ	1942	2015	73
スウェーデン	1887	1972	85
フランス	1864	1990	126

韓国	1999	2018	19
ブラジル	2011	2032	21
タイ	2002	2022	20
チュニジア	2009※	2032	23
中国	2001	2027	26

# 世界的にも例の少ない東京一極集中



(備考) UN World Urbanization Prospects The 2011 Revisionより作成。

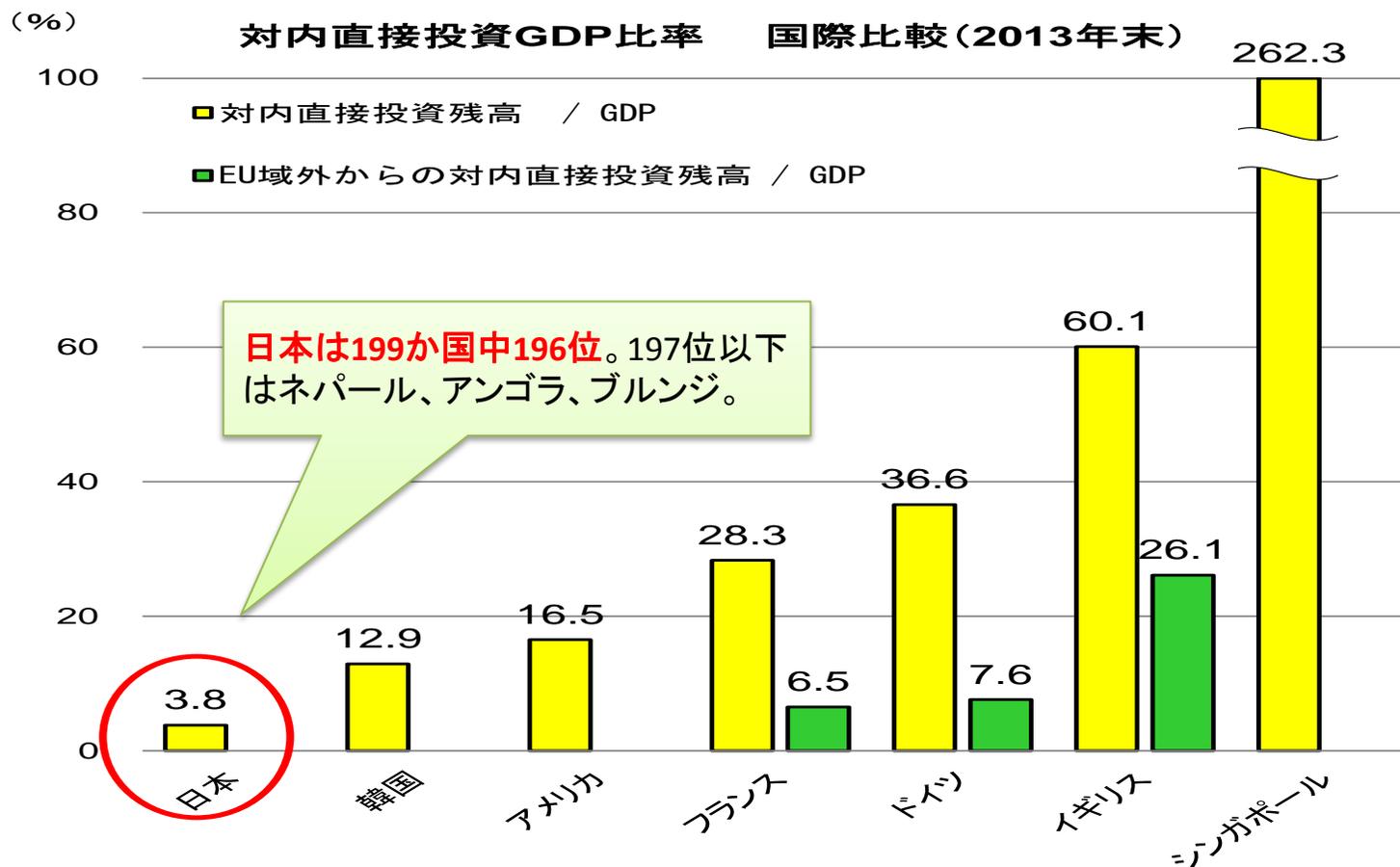
(注) 各都市の人口は都市圏人口。ドイツ(ベルリン)、韓国(ソウル)は都市人口。

日本(東京)の値は2005年国勢調査「関東大都市圏」の値。中心地(さいたま市、千葉市、特別区部、横浜市、川崎市)とそれに隣接する周辺都市が含まれている。

<参考>韓国はKOSIS(韓国統計情報サービス)のソウル、インチョン、京畿道の合算値。

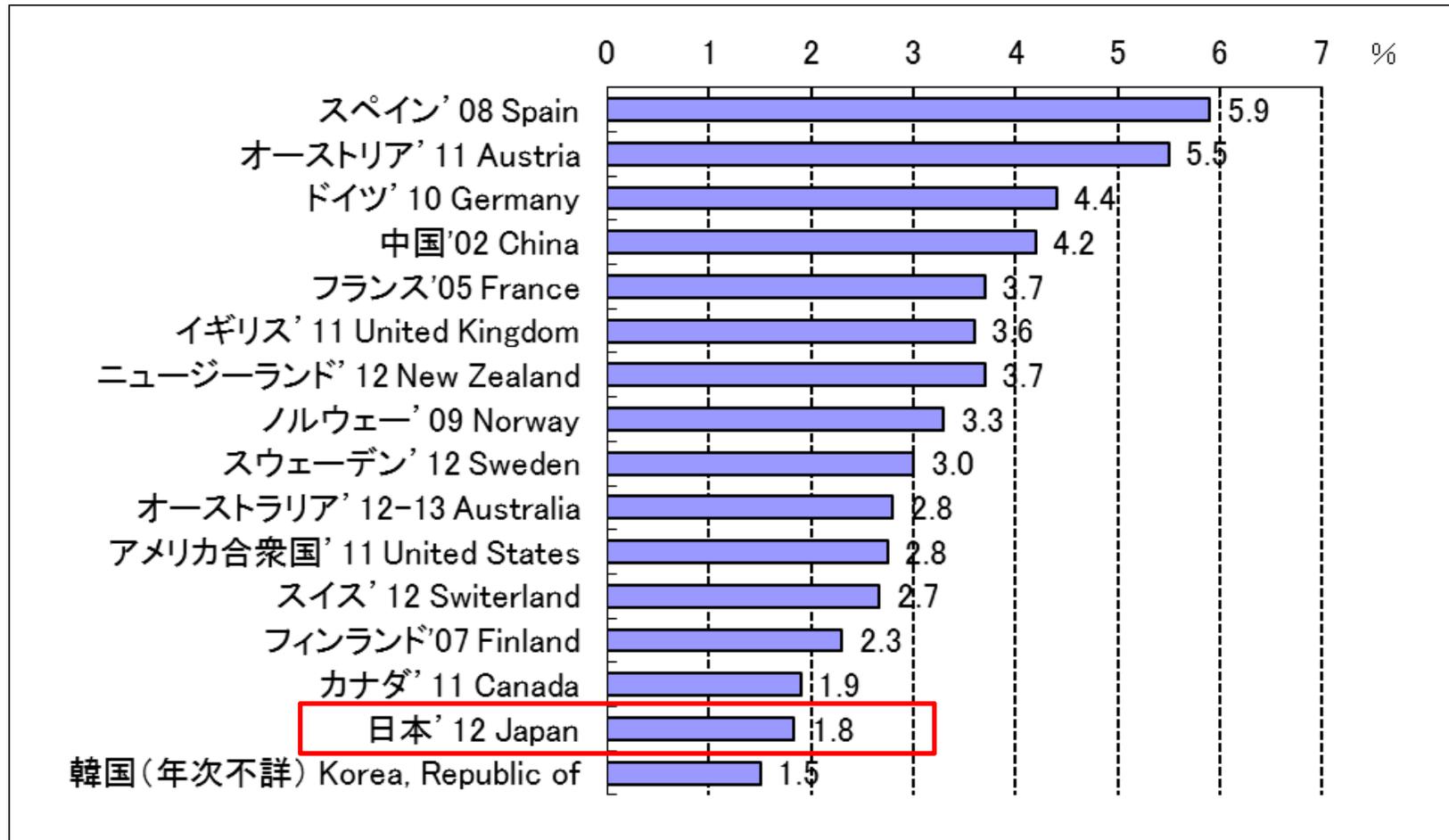
# 対日直接投資は特に地方に伸びしろがある

- 対日直接投資のGDP比率は、他国に比べて低く、伸びしろが大きい。2020年までに対内直投残高の倍増(18兆円→35兆円)を目指す中、対日投資の7割が東京に偏在。



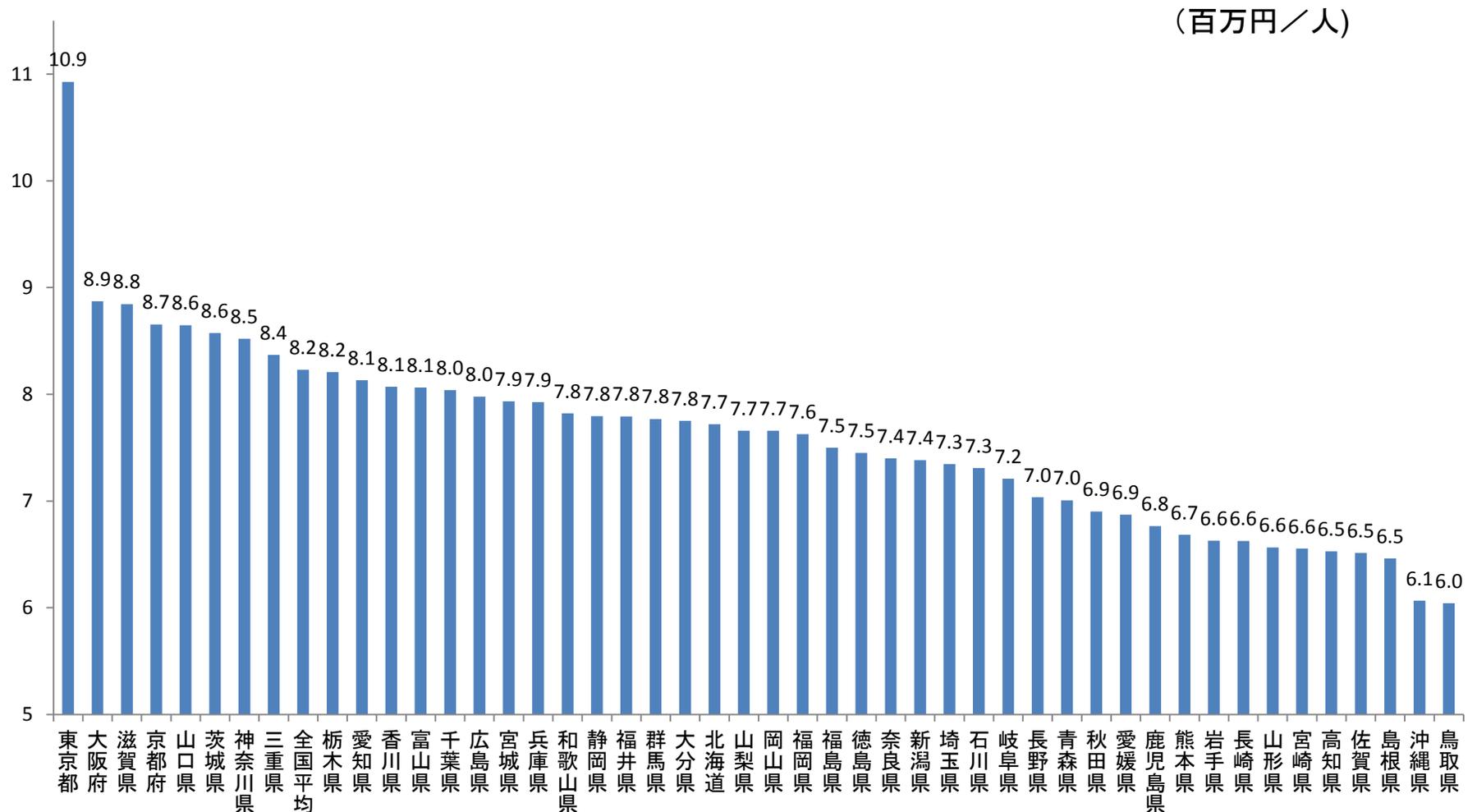
# 日本の観光GDP比率は今後大きく伸びる余地がある

観光GDP比率(GDPに占める観光GDPの割合)



出所:観光庁 旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究

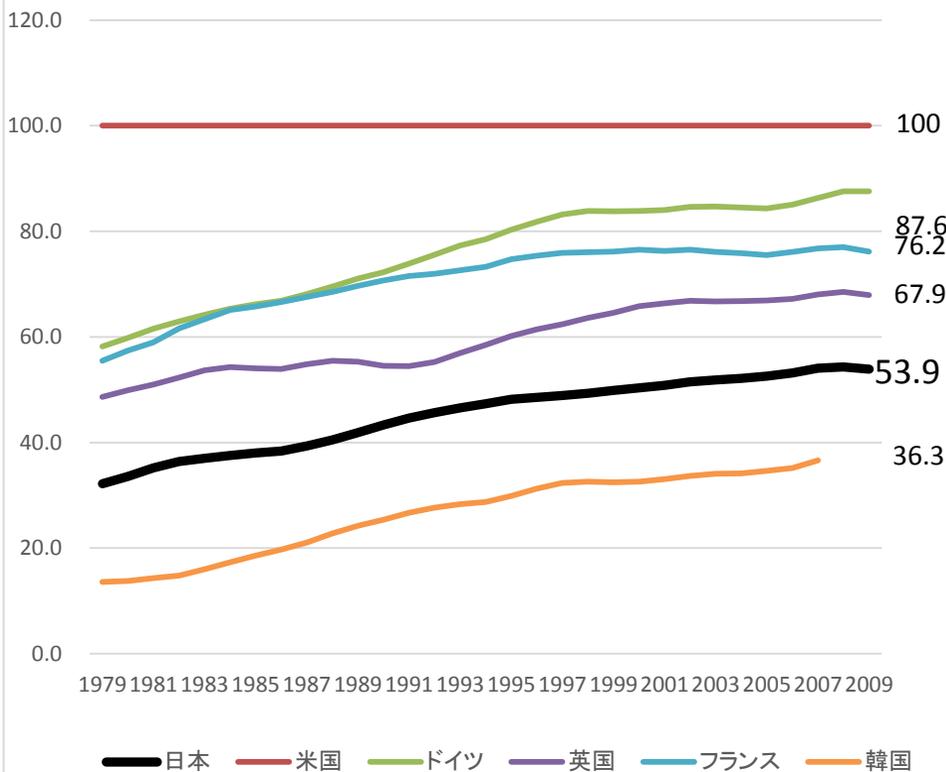
# 都道府県別の労働生産性



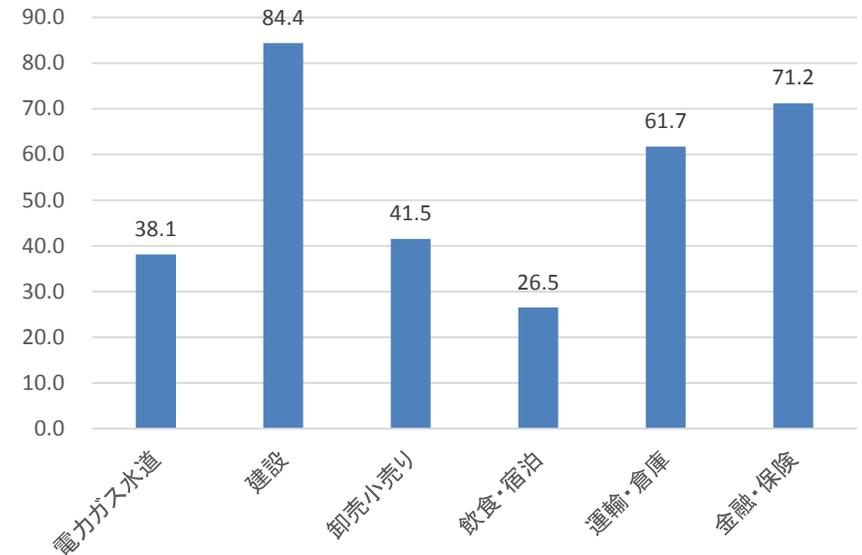
(出典) 県民経済計算から作成 (2012年)

# サービス業の労働生産性には引き上げの余地あり

サービス業の労働生産性(米国=100)

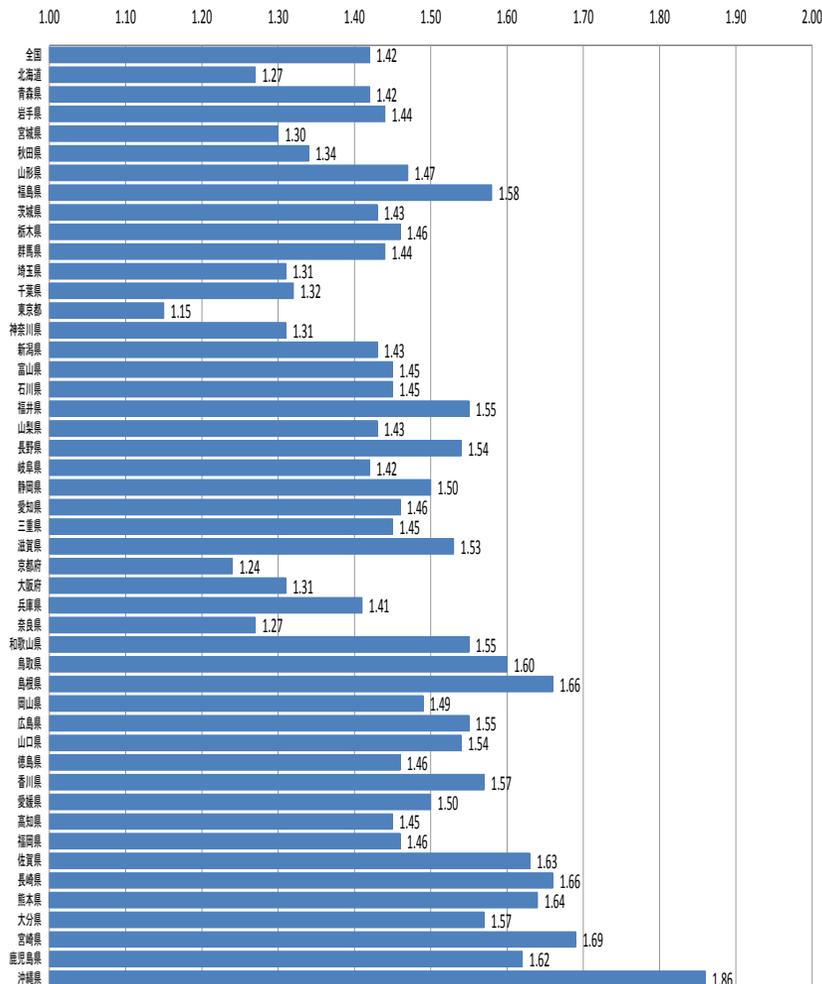


各サービス産業の労働生産性(米国=100)  
2009年



# 出生率の地域差

- 合計特殊出生率の最低が1.15（東京都）、最高が1.86（沖縄県）。九州中国地方が高い傾向にある。
- まち・ひと・しごと創生長期ビジョンでは、若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上することが見込まれるとされている。2020年に1.6、2030年に1.8、2040年に2.07となると、2060年の人口は約1億200万人になることが予測されている。なお、現在において、出生率1.8以上の市町村は120団体である。

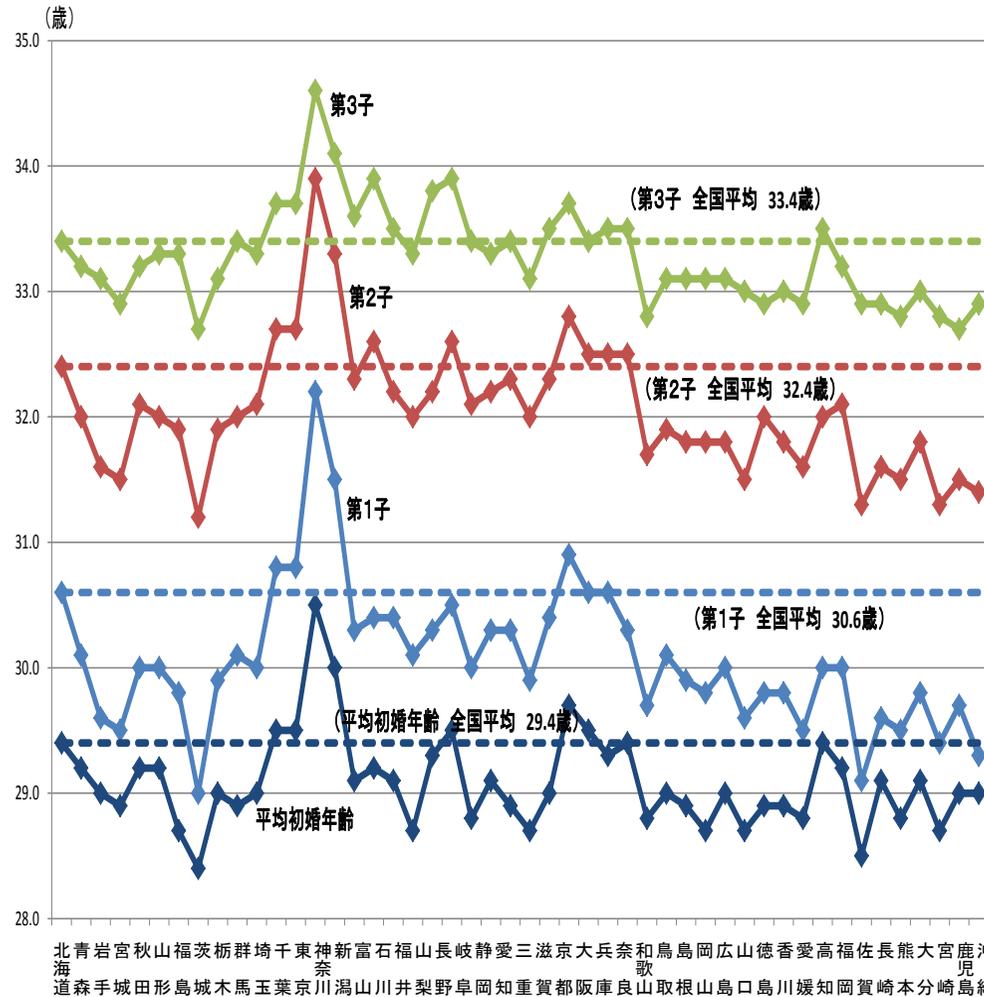


H26年出生率が高い順(都道府県)

1 沖 縄	1.86	25福 岡	1.46
2 宮 崎	1.69	26富 山	1.45
3 島 根	1.66	27石 川	1.45
4 長 崎	1.66	28三 重	1.45
5 熊 本	1.64	29高 知	1.45
6 佐 賀	1.63	30岩 手	1.44
7 鹿 児 島	1.62	31群 馬	1.44
8 鳥 取	1.60	32茨 城	1.43
9 福 島	1.58	33新 潟	1.43
10 香 川	1.57	34山 梨	1.43
11 大 分	1.57	35青 森	1.42
12 福 井	1.55	36岐 阜	1.42
13 和 歌 山	1.55	37兵 庫	1.41
14 広 島	1.55	38秋 田	1.34
15 長 野	1.54	39千 葉	1.32
16 山 口	1.54	40埼 玉	1.31
17 滋 賀	1.53	41神 奈 川	1.31
18 静 岡	1.50	42大 阪	1.31
19 愛 媛	1.50	43宮 城	1.30
20 岡 山	1.49	44北 海 道	1.27
21 山 形	1.47	45奈 良	1.27
22 栃 木	1.46	46京 都	1.24
23 愛 知	1.46	47東 京	1.15
24 徳 島	1.46	全 国	1.42

# 出産年齢等の地域差

■ 初婚年齢や出生順位毎の母親の平均年齢は地域差が大きい。特に東京都は極めて高く、平均初婚年齢は30.5歳、第1子平均年齢が32.2歳、第2子が33.9歳、第3子以降が34.6歳となっている。



	初婚年齢	出産年齢		
		第1子	第2子	第3子
全 国	29.4	30.6	32.4	33.4
0 1 北海道	29.2	30.1	32.0	33.2
0 2 青 森	29.0	29.6	31.6	33.1
0 3 岩 手	28.9	29.5	31.5	32.9
0 4 宮 城	29.2	30.0	32.1	33.2
0 5 秋 田	29.2	30.0	32.0	33.3
0 6 山 形	28.7	29.8	31.9	33.3
0 7 福 島	28.4	29.0	31.2	32.7
0 8 茨 城	29.0	29.9	31.9	33.1
0 9 栃 木	28.9	30.1	32.0	33.4
1 0 群 馬	29.0	30.0	32.1	33.3
1 1 埼 玉	29.5	30.8	32.7	33.7
1 2 千 葉	29.5	30.8	32.7	33.7
1 3 東 京	30.5	32.2	33.9	34.6
1 4 神 奈 川	30.0	31.5	33.3	34.1
1 5 新 潟	29.1	30.3	32.3	33.6
1 6 富 山	29.2	30.4	32.6	33.9
1 7 石 川	29.1	30.4	32.2	33.5
1 8 福 井	28.7	30.1	32.0	33.3
1 9 山 梨	29.3	30.3	32.2	33.8
2 0 長 野	29.5	30.5	32.6	33.9
2 1 岐 阜	28.8	30.0	32.1	33.4
2 2 静 岡	29.1	30.3	32.2	33.3
2 3 愛 知	28.9	30.3	32.3	33.4
2 4 三 重	28.7	29.9	32.0	33.1
2 5 滋 賀	29.0	30.4	32.3	33.5
2 6 京 都	29.7	30.9	32.8	33.7
2 7 大 阪	29.5	30.6	32.5	33.4
2 8 兵 庫	29.3	30.6	32.5	33.5
2 9 奈 良	29.4	30.3	32.5	33.5
3 0 和 歌 山	28.8	29.7	31.7	32.8
3 1 鳥 取	29.0	30.1	31.9	33.1
3 2 鳥 根	28.9	29.9	31.8	33.1
3 3 岡 山	28.7	29.8	31.8	33.1
3 4 広 島	29.0	30.0	31.8	33.1
3 5 山 口	28.7	29.6	31.5	33.0
3 6 徳 島	28.9	29.8	32.0	32.9
3 7 香 川	28.9	29.8	31.8	33.0
3 8 愛 媛	28.8	29.5	31.6	32.9
3 9 高 知	29.4	30.0	32.0	33.5
4 0 福 岡	29.2	30.0	32.1	33.2
4 1 佐 賀	28.5	29.1	31.3	32.9
4 2 長 崎	29.1	29.6	31.6	32.9
4 3 熊 本	28.8	29.5	31.5	32.8
4 4 大 分	29.1	29.8	31.8	33.0
4 5 宮 崎	28.7	29.4	31.3	32.8
4 6 鹿 児 島	29.0	29.7	31.5	32.7
4 7 沖 縄	29.0	29.3	31.4	32.9

# 市・町村別の合計特殊出生率

上位  
10  
団体

市		
1	沖縄県 宮古島市	2.27
2	長崎県 対馬市	2.18
3	沖縄県 石垣市	2.16
4	長崎県 壱岐市	2.14
5	沖縄県 豊見城市	2.03
6	滋賀県 栗東市	1.99
6	沖縄県 糸満市	1.99
8	沖縄県 沖縄市	1.97
9	京都府 福知山市	1.96
9	長崎県 平戸市	1.96
9	宮崎県 串間市	1.96

町村		
1	鹿児島県 伊仙町	2.81
2	沖縄県 久米島町	2.31
3	沖縄県 宜野座村	2.20
4	鹿児島県 徳之島町	2.18
5	沖縄県 金武町	2.17
6	鹿児島県 天城町	2.12
7	鹿児島県 与論町	2.10
8	沖縄県 南風原町	2.09
9	熊本県 錦町	2.08
10	熊本県 あさぎり町	2.07
10	沖縄県 南大東村	2.07
10	沖縄県 多良間村	2.07

下  
位  
10  
団体

市		
1	東京都 武蔵野市	0.95
2	東京都 狛江市	1.02
3	東京都 三鷹市	1.04
4	北海道 江別市	1.06
5	東京都 国分寺市	1.07
6	北海道 札幌市	1.08
7	北海道 北広島市	1.09
8	茨城県 常陸太田市	1.10
9	千葉県 浦安市	1.11
10	秋田県 男鹿市	1.12
10	東京都 小金井市	1.12

町村		
1	大阪府 豊能町	0.82
2	埼玉県 毛呂山町	0.94
3	埼玉県 鳩山町	0.96
4	東京都 奥多摩町	1.00
5	北海道 当別町	1.01
5	茨城県 利根町	1.01
7	埼玉県 小川町	1.05
7	京都府 南山城村	1.05
9	神奈川県 箱根町	1.06
9	大阪府 能勢町	1.06
9	大阪府 岬町	1.06

「地域少子化・働き方指標」をもとに作成。合計特殊出生率は平成20～24年の推定値。

# 市・町村別の平均初婚年齢

## 男性平均初婚年齢

## 女性平均初婚年齢

上位10団体

市		町村	
1	長崎県 西海市 27.8	1	高知県 本山町 25.6
2	福岡県 豊前市 28.1	1	青森県 新郷村 25.6
2	秋田県 潟上市 28.1	3	北海道 新得町 25.9
4	福島県 本宮市 28.4	4	北海道 上砂川町 26.0
5	島根県 江津市 28.5	5	福島県 飯舘村 26.2
6	福岡県 宮若市 28.7	6	山形県 鮭川村 26.3
6	山形県 尾花沢市 28.7	7	青森県 東通村 26.5
6	鹿児島県 志布志市 28.7	8	沖縄県 東村 26.6
9	茨城県 北茨城市 28.8	9	山形県 戸沢村 26.8
9	宮崎県 串間市 28.8	10	北海道 池田町 26.9
9	福岡県 嘉麻市 28.8		
9	佐賀県 伊万里市 28.8		
9	香川県 善通寺市 28.8		

市		町村	
1	島根県 江津市 26.6	1	福島県 双葉町 23.4
2	茨城県 北茨城市 26.9	2	北海道 増毛町 23.7
3	北海道 歌志内市 27.0	3	北海道 上砂川町 24.4
4	福島県 田村市 27.0	4	群馬県 片品村 24.7
5	千葉県 旭市 27.0	4	沖縄県 南大東村 24.7
6	兵庫県 南あわじ市 27.1	6	熊本県 相良村 24.8
6	和歌山県 有田市 27.1	7	秋田県 八峰町 25.1
8	石川県 珠洲市 27.2	7	長野県 泰阜村 25.1
9	茨城県 行方市 27.3	9	北海道 奥尻町 25.2
9	岐阜県 山県市 27.3	9	高知県 本山町 25.2
9	福岡県 豊前市 27.3		
9	福岡県 中間市 27.3		
9	宮崎県 えびの市 27.3		

下位10団体

市		町村	
1	千葉県 南房総市 33.9	1	高知県 三原村 39.1
2	神奈川県 逗子市 33.8	2	青森県 西目屋村 38.3
3	神奈川県 鎌倉市 33.2	3	和歌山県 高野町 37.8
4	岩手県 陸前高田市 33.1	4	広島県 安芸太田町 36.6
5	東京都 狛江市 32.7	5	青森県 蓬田村 36.5
5	千葉県 いすみ市 32.7	6	東京都 八丈町 36.4
5	静岡県 下田市 32.7	7	島根県 海士町 36.1
5	高知県 土佐清水市 32.7	8	静岡県 松崎町 36.0
9	秋田県 能代市 32.6	8	和歌山県 太地町 36.0
10	東京都 多摩市 32.5	8	長野県 上松町 36.0
10	静岡県 伊東市 32.5		

市		町村	
1	千葉県 南房総市 31.6	1	京都府 南山城村 37.2
2	神奈川県 逗子市 31.5	2	北海道 愛別町 35.5
3	神奈川県 鎌倉市 31.3	3	岩手県 葛巻町 34.8
4	東京都 狛江市 30.9	4	高知県 仁淀川町 34.7
5	東京都 三鷹市 30.7	4	熊本県 水上村 34.7
6	岩手県 陸前高田市 30.6	6	北海道 東川町 34.5
6	東京都 小金井市 30.6	6	北海道 和寒町 34.5
8	秋田県 能代市 30.5	6	島根県 海士町 34.5
8	千葉県 いすみ市 30.5	9	北海道 島牧村 33.8
8	千葉県 大網白里市 30.5	9	群馬県 川場村 33.8
8	長崎県 五島市 30.5		

「地域少子化・働き方指標」をもとに作成。平均初婚年齢は平成25年の数値。

※1 基礎とした統計上表象のないものや、少数につき表象に適さないと考えられるもの(男性:87町村、女性:91町村)を除いたうえで上位・下位を抽出。

※2 少規模の市町村においては、年ごとの数値に大きな変動が生じることを示し、留意が必要。

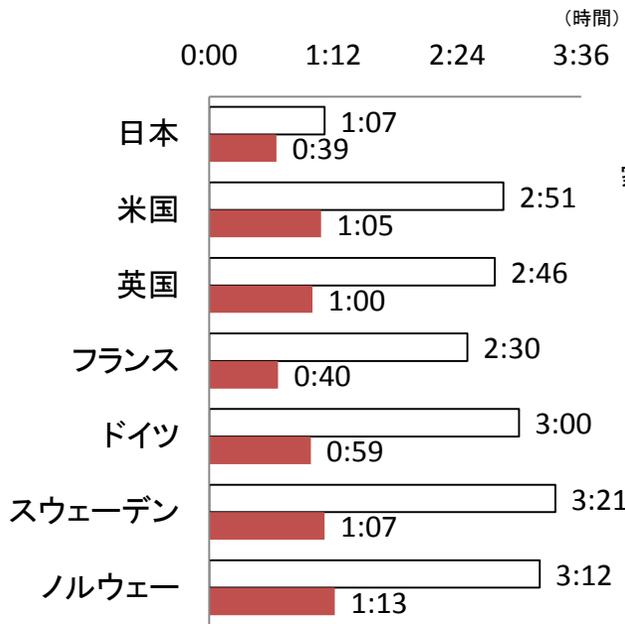
## 都道府県別の働き方、住宅（持ち家）規模

順位	都道府県名	通勤等の時間 (H23)	週60時間以上働く 人の割合(H24)	順位	都道府県名	1住宅当たり延 べ面積(m <sup>2</sup> )
1	宮崎県	49分	8.7%	1	富山県	175.26
2	島根県	51分	6.8%	2	福井県	171.58
3	鳥取県	52分	7.1%	3	山形県	165.84
4	福井県	53分	8.2%	4	秋田県	160.44
4	愛媛県	53分	8.6%	5	石川県	160.30
4	大分県	53分	8.6%	6	新潟県	159.59
44	東京都	1時間33分	11.2%	44	沖縄県	103.62
45	埼玉県	1時間36分	10.2%	45	大阪府	100.27
46	千葉県	1時間38分	10.2%	46	神奈川県	97.86
47	神奈川県	1時間44分	10.3%	47	東京都	89.52
参考	全国平均	1時間15分	9.6%	参考	全国	120.93

# 女性の継続就業・出産と、男性の家事・育児参加の関係

- 日本の夫(6歳未満の子どもを持つ場合)の家事・育児関連時間は、1時間程度と国際的にみて低水準
- 夫の家事・育児時間が長いほど、妻の継続就業割合が高く、また第2子以降の出生割合も高い傾向にある。

【6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間(1日当たり)】

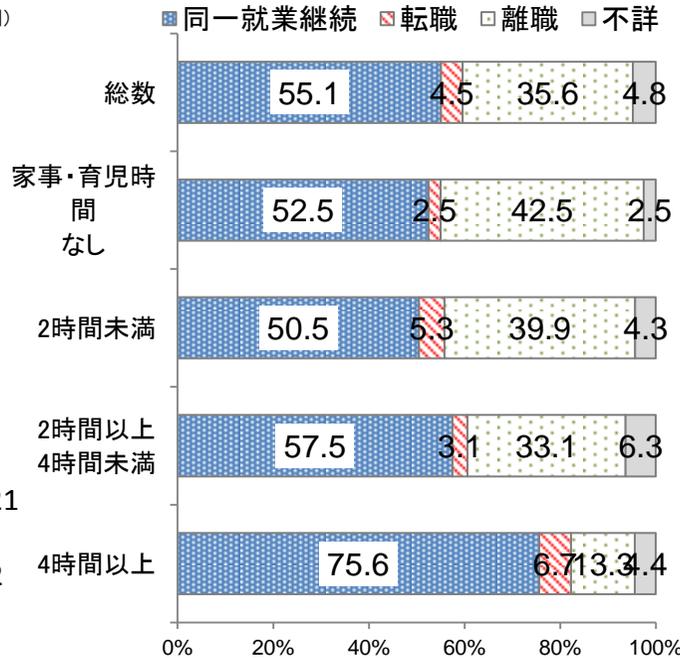


□家事関連時間全体 ■うち育児の時間

(資料出所) 平成25年男女共同参画白書

(備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey Summary" (2011) 及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。  
2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。

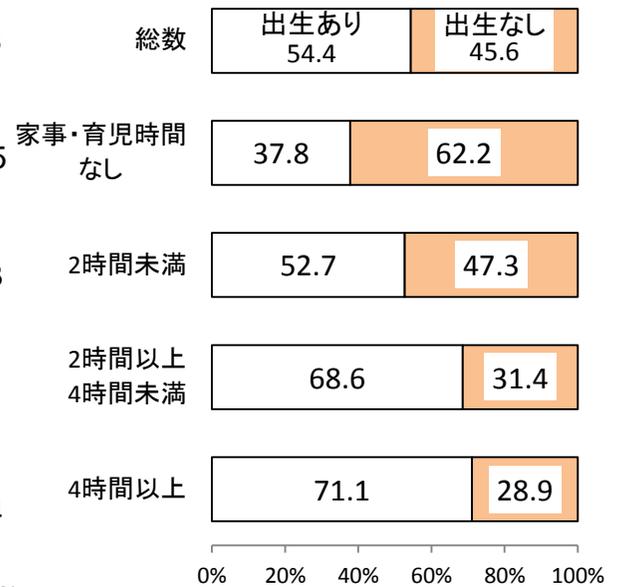
【夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の出産前後の継続就業割合】



(資料出所) 厚生労働省「第11回21世紀成年者縦断調査」(2012年) 注:

- 1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの10年間に子どもが生まれた同居夫婦である。  
①第1回から第11回まで双方が回答した夫婦  
②第1回に独身で第10回までの間に結婚し、結婚後第11回まで双方が回答した夫婦  
③妻が出産前に仕事ありで、かつ、「女性票」の対象者である
- 2) 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
- 3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

【夫の平日の家事・育児時間別にみた第2子以降の出生割合】



資料出所: 厚生労働省「第11回21世紀成年者縦断調査」(2012)

- 注:
- 1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。  
①第1回調査から第11回調査まで双方から回答を得られている夫婦  
②第1回調査時に独身で第10回調査までの間に結婚し、結婚後第11回調査まで双方から回答を得られている夫婦  
③出生前調査時に子ども1人以上ありの夫婦
  - 2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
  - 3) 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
  - 4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。